

平成 26 年度物部川清流保全推進協議会合同部会 要旨

日 時： 平成 27 年 3 月 23 日（月） 14：00～16：10

場 所： 香美市立中央公民館 2 階会議室

○内容

（１）物部川濁水対策検討会の検討状況について（報告）

- ・ 県河川課より、物部川濁水対策検討会（以下「検討会」という。）の取組について、平成 26 年における長期濁水の貯水池対策とその状況などについて報告があった。
- ・ 主な意見は以下のとおり。
- ・ 平成 26 年度は、台風の襲来も多く、雨量も多かったが、奥山での集中豪雨が少なかったため、危機的な山腹崩壊は免れたようだ。運がよかったと思う。
- ・ 奥山にも測定ポイントを増やしてもらいたい。濁水の発生源が特定されやすいのではないか。
- ・ 永瀬ダム上流域の濁水発生源調査の表は非常にわかりやすい。1 日後、3 日後、5 日後とだんだん濁りが薄まっていく様子がよくわかる。このような一般の人にもわかりやすい調査をぜひ続けてほしい。

（２）物部川流域の鳥獣被害対策について（報告）

- ・ 県鳥獣対策課より物部川流域の鳥獣被害と対策について報告があった。
- ・ 主な意見は以下のとおり。
- ・ 地元の山でユズがシカの食害にあった。シカが里山まで下りてきている。皆で協力してシカ対策を進めたい。
- ・ シカの命をいただくことは、やはり、食べることに。安全、安心して食べられるように衛生面での管理を徹底し、ジビエ料理の普及啓発をしていきたい。
- ・ 連携捕獲といった取組が定着するように、また、成果があがるように期待する。

（３）意見交換

- ・ 事務局（県環境共生課）より物部川清流保全推進協議会の今後の取組み（案）を説明し、各団体における今後の清流保全活動の取組状況や方向性と併せて意見交換を行った。
- ・ 主な意見は以下のとおり。
- ・ ぜひ、勉強会に参加し、実際の山の様子を見て、シカの食害の実態を体感したい。
- ・ 皆伐後のシカ対策は重要と考える。場所によっては天然林に戻すようにしていきたい。
- ・ 「広葉樹の森づくり」は清流保全につながる。今回モニタリング調査を実施し、有効性が確認された。今後も活動を続ける。
- ・ 産業振興分野の担当者との連携が進んでいない。物部川に恩恵を受けているのなら物部川にお返しをするべき。地域振興の分野と連携を広げてみてはどうか。
- ・ 県や市の部局単位で物事を考え、価値を明らかにし、清流保全の取組を推進してほしい。
- ・ 浅水代かきの技術的な普及が課題。川にダメージを与えないといういい取組をしているので、取組の輪が広がるようにしていきたい。
- ・ 4 月 5 日に J A 南国市旧三和ライスセンター付近の甫場でロータリーによる浅水代かき実践会を実施する。興味のある方は是非、視察に来てもらいたい。

以上